



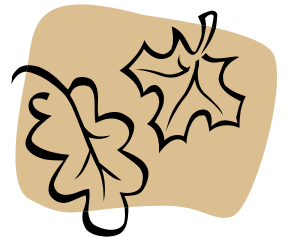
これからも、皆さんの温かい目で見守ってください。い。「神になさることはすべてときかなって美しい。伝道者の書三章十一節」

夏休みも終わって、少し涼しい季節になりました。夏のバイブルサークルとの合同キャンプではヤングクラスのみならず歌を歌いました。みんな一生懸命に歌っていてとても良い賛美ができました。みんなにとっても良い思い出になりました。来年のキャンプが楽しみです。今はクリスマスに何をしようかと考え中です。賛美をしようか劇をしようか漫才をしようか。昨年のクリスマス会では劇をしました。今回は新しいことにもチャレンジしてみたいです。それでは今回はここまで！

つばさ

YCニュースレター

発行：
YC 報道班
08/10/05
第2号



突撃！インタビュー

今回は日下敏彦兄にインタビューしました！

Q. 聖書の中で一番尊敬している人は？

A. パウロです。彼はイエスキリストだけを見ていた人だからです。どんな苦しい事、悲しいこと、つらいことがあっても



そんなことはものともしない、イエス様に喜んでもらえばそれだけいい、というパウロが大好きです。

Q. 天国で神様に会ったら何が聞きたいですか？

A. 私の主に仕えた人生の中で、一番神様が大笑いしたこと、悲しんだこと、これは怖いけど怒られた事をそれぞれ3つ聞きたいです。

Q. もし今なんでもできるとしたら何をしますか？

A. 世界中に伝道旅行したい。

Q. ヤングクラスの生徒たちに一言

A. オリンピックの選手のようにものすごい賜物が与えられていて、よく「才能がある」といわれている人



「人生の目的」

たちでも小さいころから自分の進むべき道を見つけてそれに全てをかけていて、その努力があつてこそ今の彼らの姿があると思うんです。みんなにはまだまだいろいろな可能性が秘められていて、どんなにすごい将来が用意されているかわからないけど、できるだけ君たちには寄り道をせず、に神様が用意して下さっている人生を進んでいてほしいです。

多くの財産や社会的地位、名声、知恵、人々が望むもの全てを手にしたイスラエルの王ソロモンはこう言いました。「すべてはむなしく、風を追うようなものだ。」何千年の間、偉大な哲学者たちが人生の意味について思索を重ねてきましたが、それは憶測の域を出ず、はっきりとした回答を与えてはいません。自分（人間）の中に答えを探しても、見つかりません。

私は以前、冷蔵庫に入っていた「めんつゆ」を麦茶と違って飲んでしまったり、寝ぼけていて、洗顔フォームで歯を磨こうとしたことがありました。作られた物の目的を間違えてしまうと大変なことになってしまいます。私たちのアイデンティティや価値、目的というものは、聖書が語る造り主の存在なくしては意味を持たないのです。この神を信じる時、私たちは本当の人生の目的を見出すのです。

(西谷順)